

謹啓 残暑の候ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたびの「平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波」に際しまして、ご懇篤な見舞金や義援金をお寄せいただき、厚く御礼申し上げます。

今回の被害は県内全市に及んでおり、特にも津波に襲われた沿岸各市は甚大な被害を被っております。

この大災害に対し、多くの都道府県市長会、地方自治体、自治体職員、そして関係する各種の団体の皆様方からお寄せいただきました見舞金と義援金につきましては、それぞれご趣旨に沿う形で各市の復旧・復興や被災者の生活再建に役立たせていただくこととし、第2回目の見舞金と第1回目の義援金配分を行ったところであります。

沿岸の被災者は、ほぼ全員が避難所から仮設住宅等に移られておりますものの、未だ厳しい生活を強いられており、このような中での喫緊の課題とされる地域経済の再生への取り組みとともに、この先長い年月を要するものと思われる復旧・復興への取り組みも大きな課題となっております。

そういった状況において、被災市職員は、あまりの被害の大きさに身がすくむ思いを抑えつつ、全国の皆様方から寄せられた貴重なご支援に感謝し、長い歴史の中で先人が築いてきた郷土の復旧・復興のため、地域住民とともに英知を結集し取り組んでまいりますので、今後とも一層のご支援とご高配を賜りますようお願い申し上げます。

このたびお寄せいただきましたご厚情に対し、略儀ながら書中をもってお礼申し上げますとともに、皆様のますますのご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

謹白

平成23年8月31日

狛江市
市長 矢野裕様

岩手県市長会
会長 谷藤裕明

